

## ミャンマー連邦共和国科学技術大臣と国立六大学学長の調印式

3月6日、千代田区霞が関の東海大学校友会館において、ミャンマー科学技術大臣と六大学（千葉、新潟、金沢、岡山、長崎、熊本）学長間で、ミャンマーの工学系高等教育分野の人材育成を支援することで合意し、確認書の調印式が行われた。

Ko Ko Oo ミャンマー科学技術大臣は、「これまでミャンマーの大学では、教育制度や研究設備など様々な面で遅れを取ってきたが、日本の協力と援助を受けることで、将来日本のようにレベルの高い大学を目指し、技術力を生かした経済発展に転換していきたい。」と日本への期待と自国発展への意欲を語った。

今後、六大学では、特にヤンゴン工科大学及びマンダレー工科大学の能力強化のため、本邦教員の派遣や博士号を持たないミャンマーの教員の日本留学等、ミャンマーへの協力体制を構築していく予定である。



▲スピーチを行う Ko Ko Oo ミャンマー科学技術大臣



▲調印後、確認書を手元に記念撮影を行う

Ko Ko Oo ミャンマー科学技術大臣(中央)と六大学学長